

入居企業紹介 その233

SICに入居されている企業様をご紹介します。

“ 本質を捉えた DX 化を支援する!! ”



【Desk10会員プロフィール】

Askall株式会社
代表取締役 宮原 宏治(みやはら こうじ)

宮原さんは事業の拠点を移すため、2025年9月に相模原に引っ越してきました。岡山市出身で、中学校を卒業後、イギリスに留学していた経験があります。イングランド内の英語学校を経て高校に入学しました。体育の時間に初めてラグビーをやることになり、体の大きな相手に吹っ飛ばされたことが思い出の一つです。今は仕事に奔走していて、プライベートな時間がなかなか取れずにいますが、それでもやりがいのある業務に向き合い、毎日が充実しているとのこと。

【ITエンジニアの道、そして起業へ】

イギリスから帰国後、留学時代に関心を持った法律を学ぶため、大学では法学部を選びました。卒業後は様々な業種、業務で経験を積みました。折しもIT業界は、「モバイル・インターネットへの急激なシフト」と「リーマンショックによる投資凍結」、そして「クラウド技術の黎明」が重なった大きな転換期に、宮原さんはITを学ぶことを決意し、30歳まで学費を貯めてITの専門学校に通いました。専門学校卒業後は派遣社員としてシステム開発等に従事し、より責任をもって業務にあたるために正社員として仕事ができるIT会社への転職も果たしました。エンジニアとしての業務だけでなく、プロジェクト管理にも携わる機会が増えました。経営の視点で業務と向き合うことで、自らが経営者として活動することでさらなる挑戦ができると考え、2024年に起業。現在は3名のスタッフと一緒にシステム開発を行っています。

【Askall社の事業内容】

昨今、企業ではデジタル化やDXが継続的な経営課題となる一方、属人的な業務や実態に合わない既存システムが足かせとなり、企業内部からの変革を妨げる事例が増えています。不確実性が高く、先が読みづらい状

況下では常に市場ニーズと向き合い、現場の実態を捉えた最適なシステムの構築と改善を推進しなければなりません。そのためにはエンジニアの確保やメンテナンスの迅速性が課題となり、Askall社はその解決のパートナー役を果たします。真の効率化に向けて、Askall社は企業規模や成長フェーズに沿ったシステム設計・改善をクライアントと一体となって推進していきます。



Askall社の強みはGoogle Cloud Platform(※)やAmazon Web Servicesといったクラウド技術を活用したWebアプリケーション開発力で、これまでも顧客管理システムの構築などを手掛けました。クライアントの本質的な課題に寄り添い、システムエンジニアリングサービス(SES)および受託開発を中心に、DX推進と業務効率化を支援します。Askall社は、単にシステムを「開発する」ことではなく、クライアントの現場に入り込み、業務や課題を理解した上で、最適な技術支援を行います。エンジニアは常駐またはリモートという柔軟な対応で、既存システムを活かしながら段階的な改善を進めます。これにより、過度な初期投資や無理な開発を避けつつ、現実的で持続可能なDXを実現します。

(※)Askall株式会社は Google Cloud Platform(GCP) パートナーとして認定されています。

【これからの目標】

Askall社としての成長を見据え、幅広い開発実績を積み重ねていきたいと考えています。また、IT業界においても、まずは人材の採用・育成が重要です。今も積極的に人材の採用を行っていて、クライアントからの要求に常に対応できる体制を早期に整えていきます。Askall社の技術力・ブランド力強化に向けて、自社独自のプロダクトの開発も手掛けていきたいと考えています。

Askall株式会社

Desk10会員

<https://www.askall.co.jp/>

※ホームページ内にお問い合わせフォームがあります。

 Askall
Advances, Support, Knowledge for All.
アスカ株式会社

入居企業トピックス

1月の新聞掲載記事紹介(1月27日時点)

メディアに紹介された企業をご紹介します。

ご紹介する記事はSICに掲載していますので、ご覧ください。

またメディアに掲載された場合、スタッフに教えていただけると幸いです。

12月23日～26日 カネパッケージ株式会社 日刊工業新聞
―激動の経営 ①最小梱包で試行錯誤、②業績立て直しに奔走、
③顧客目線で教育を進める、④現地の人と“経済圏”作る―

1月9日 株式会社食機能探索研究所BABILON 神奈川新聞
―ビジネスウエーブ あぶらを正しく知る！
オイルリテラシー向上のために―

1月13日 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞
―下請法から取適法 新ルール始まる＜専門家はどう見る＞―
―2026年施行！中小企業経営者が今備えるべき「取適法」の
核心【総まとめ・前編】―

施設からのお知らせ

SIC-3全館停電のお知らせ

建物電気設備（キュービクル）の法定年次点検実施に伴い、停電を予定しています。

SIC-3 令和8年3月7日(土)9:00~12:00

作業時間中は停電となります。前日までに各部屋のサーバー等電源への停電対応をお願いします。詳細は別途ご案内します。

SIC-3消防訓練実施のお知らせ



SIC-3 では、3月上旬に消防訓練を予定しています。詳細は後日お知らせします。

災害を身近に感じる昨今、非常時に備えるため、各企業のご参加をお待ちしています。

『さがみはらロボット導入支援センター』にて
2月19日まで協働ロボットを展示します！



相模原市ではロボット導入を検討する市内事業者等の理解促進を目的として、ファナック協働ロボットを展示します。協働ロボットを見て、触れることで自動化・ロボット活用のイメージを深められますので、ロボット技術に関心をお持ちの方は、この機会にぜひお試しください。

【開催期間】 令和8年2月19日(木)午後5時まで ※予約制、榑川(内線:2025)まで
【場所】 さがみはらロボット導入支援センター
【展示ロボット】 ファナック協働ロボット CRX-5iA
・安全柵不要で設置が簡単(入力電源 AC100V)・アームを手で持ち自由に操作・アイコンで簡単プログラミング

編集後記

取材した宮原さんが多方面で得た経験の中には、人のマネジメントの大変さや自分ならこうしたいという想いもあったそうです。これらの経験からAskall株式会社の社名は、Advance(進歩)・Support(支援)・Knowledge(知識)のALL(すべて)を、あらゆる顧客へ提供するという思いが込められたとのこと。皆さんの社名にはどんな思いが込められていますか？(佐藤)

knock! knock! SIC空室情報 (令和8年2月2日 現在) ※お気軽に榑垣・大谷までお問合せください

	部 屋	空 室 数	賃料/月額 (共益費・消費税込)
SIC-1 Startup Lab.	○スモールオフィスA(23.6㎡)	2	97,680円
	○スモールオフィスB(17.3㎡)	1	79,640円
	○スモールドライラボ(17.3㎡)	2	79,640円

最新の情報はHPをご確認ください。

神奈川宇宙サミット2026

「神奈川宇宙サミット 2026」では、宇宙産業の最新知見と多様なリソースを結集し、医療・AI・素材・製造など幅広い分野に広がる宇宙ビジネスの可能性を紹介します。ともに宇宙産業の『これから』を、神奈川から日本全体で創り出すことを目指しませんか？

【日 時】 2026年2月5日(木) 10:00~18:00(予定)
※同日レセプションも開催されます。(参加費有料)
【会 場】 アニヴェルセル みなとみらい横浜(神奈川県横浜市中区新港2-1-4)
【詳細】



【お問い合わせ】 神奈川宇宙サミット実行委員会開催運営事務局(JTB受託)
Mail: info-kss2026@bsec.jp

神奈川県宇宙産業参入促進セミナー 製造業のための宇宙ビジネス参入[入門]

ー 拡大する宇宙ビジネスと、参入時に押さえるべき注意点 ー

宇宙関連産業の市場規模は急速に拡大しており、神奈川県では、宇宙関連産業への参入促進や、県内に集積している宇宙関連企業との共創を図るための拠点 (KANAGAWA Space Village) を設置しました。今回は、成長が見込まれる宇宙関連産業へ製造業が参入するための入門セミナーを開催します。

【日 時】 2月9日(月)16:00~18:00
【場 所】 KANAGAWA Space Village(相模原市緑区橋本3-28-1 ミウヰ橋本2階)
【詳細】



技術系スタートアップの成長プロセスを徹底解剖

GLiS Meet Up#3 にて入居企業・SICが登壇しました！

1月26日(月)「技術系スタートアップの成長プロセス」をテーマとするイベントに、DiNOV 株式会社の出島代表取締役と SIC の片山課長が登壇しました。当日はパネルディスカッション形式で、起業に至る背景、事業成長の過程、地場企業との連携のリアルなどを共有しました。



★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ:https://www.sic-sagamihara.jp
発行元:株式会社さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail:koho@sic-sagamihara.jp